

「管理・運営」ハイライト

化学物質管理システム企画・管理運営・ユーザーサポート

理工学研究科（理学系） 小原敬士准教授

全学の化学物質の全数を適正な法規情報とともに登録し、管理・報告の一元化・電子化を推進するため、ユーザー調査、安全衛生管理部門及びメーカーとの折衝等を経て仕様決定した新バージョンを2007年8月に導入した。ユーザーインターフェースが刷新され、化学物質の購入支援、管理状況の自動抽出、消防法規制管理状況表示などの諸機能が追加されて、試薬の購入から使用・廃棄までの全記録をカバー可能なシステムとなった。

システムに関するFAQ・実践操作マニュアル・PRTRデータ抽出ガイドなどの作製と全学配信、システム操作体験式の説明会の実施、バグ・トラブル・利用法についての電話・メール対応などのユーザーサポートを行った。

医学部医学科及び医学系研究科医学専攻での教育改革への貢献

医学系研究科（総合医学教育センター） 小林直人教授

(1) 医学科・教務委員会と連携して、1回生の教育重点化や6回生の国家試験対策等の重点課題に関わる活動を推進した。その成果として、特に医師国家試験の合格率が全国80大学中10位となり例年にない好成績であった。また、1回生の仮進級の学生数が減少している。一方大学院教育では、医学専攻・学務委員会及び医学専攻将来計画委員会の委員として、臨床腫瘍学教育課程のシラバス作成や終了判定基準作成等にあたった。

(2) 医学系研究科自己点検評価委員会の委員長として、平成19年度冬季の勤勉手当について、教員総合評価に基づくインセンティブ付与のための実務を担当した。また、中期目標期間の評価（いわゆる暫定評価）のための現況調査表や業績リストの作成にあたっては、他の教員や関係する事務部署と連携しつつ中心的役割をつとめた。